



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ 上場取引所 東
 コード番号 2180 URL http://www.ssu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 (氏名) 相田 俊充 TEL 03-6894-3233
 本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	3,263	△12.7	261	△32.3	262	△31.9	156	△33.0
28年6月期第1四半期	3,739	15.7	386	—	385	—	233	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 162百万円 (△34.1%) 28年6月期第1四半期 247百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	42.56	—
28年6月期第1四半期	65.10	64.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	6,094	1,497	22.1
28年6月期	5,773	1,402	21.8

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 1,345百万円 28年6月期 1,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	5.00	—	25.00	30.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,375	10.2	74	△80.3	84	△77.5	59	△77.4	16.12
通期	14,032	4.8	174	△60.9	201	△14.6	121	—	33.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期1Q	3,697,600株	28年6月期	3,697,600株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	32,124株	28年6月期	32,124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期1Q	3,665,476株	28年6月期1Q	3,579,126株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは高い水準の営業成績を達成いたしました。その主な要因としては以下の四つが挙げられます。

1. 基幹事業であるマーケティング・コミュニケーション事業の安定継続的な収益の獲得
2. スポーツ事業に関するマネジメント重視からマーケティング重視へのビジネスモデルへの転換
3. bills海外店舗（ハワイ店・韓国一号店、二号店）の経営軌道化
4. S P・MD事業におけるリソースの選択と集中で業績の安定化と成長のための土台づくりが定着

以上の要因により当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,263百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益261百万円（前年同期比32.3%減）、経常利益262百万円（前年同期比31.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益156百万円（前年同期比33.0%減）となりました。

尚、当第1四半期連結累計期間の連結業績が順調に推移しているものの前年同期比減となったのは、「マーケティング・コミュニケーション事業」と「S P・MD事業」において、前年同期に予想を超えた複数の大型案件を受注したことに起因しており、あくまで一時的な影響だと考えております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①マーケティング・コミュニケーション事業

話題性を創出する企画力と他の追随を許さないメディアネットワーク力を武器に多くの成功事例をつくり続けているP R事業では、当第1四半期連結累計期間においても食品・飲料からヘルスケア、大型商業施設等、幅広い領域に渡る案件を多数手掛け、高い収益をあげております。P R発想と連動しながら販売促進に比重を置いたソリューションを提供するプロモーション事業では、大手コンビニを主戦場にした複数の大型キャンペーン施策の制作を遂行し、下期展開予定の施策も順調に受注しております。企業ブランディングに応用したコンテンツ&キャスティング事業も順調に進捗した結果、当初見込みを大きく超えた成果を出すに至りましたが予想を超えた大型案件を受注した前年同期の実績には及ばず、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,050百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

②S P・MD事業

業界屈指の大型プレゼントキャンペーンの複数受注や社会貢献活動支援事業によって、前期、創立以来と言える高い収益をあげるまでに事業変革を成し遂げたS P・MD事業は、当第1四半期連結累計期間においても安定継続的な進捗を見せています。その原動力のひとつとして、これまで手掛けた施策が日本で成功した結果、海外に持ち込まれて実施される事案の増加があげられます。独創的なアイデアと高い生産調達ノウハウに裏付けられた成功確度と信頼性の高いグッズに対する需要は世界共通と言え、本事業のソリューションを提供する領域は格段に広がったと言えます。このような順調な進捗は見せておりますが前年同期の実績には及ばず、当第1四半期連結累計期間の売上高は914百万円（前年同期比28.7%減）となりました。

③スポーツ事業

スポーツビジネスの先駆者として数多くの話題性あふれる施策を実現してきた当社のスポーツ事業は、東京オリンピック・パラリンピック開催決定を機に盛り上がる社会情勢と呼応するように大きな発展を遂げようとしております。当第1四半期連結累計期間においては、リーグ屈指の人気球団となったプロ野球チームのトータルP Rサポートにおいて目覚ましい成果をあげることができました。また当期後半に実施予定のスポーツイベント案件の複数受注が決まる等、営業活動も順調に進捗しております。このような順調な状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は261百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

④bills事業

2016年7月、西日本エリアに初出店した「bills福岡」店は、オープンから夏場にかけて予想を上回る集客実績をあげると同時に多くの話題を集め、bills全体のブランドアップに貢献した結果、当第1四半期連結累計期間のbills国内事業は好調に推移いたしました。また、2016年2月にオープンした韓国二号店の高い人気は定着し、韓国国内人気ランキングに入った一号店も含めて、bills韓国事業も順調な業績を残しており、客席稼働率が向上したハワイ店舗も含めたbills海外店舗の収益スキームは軌道化しております。国内及び海外店舗共に順調な業績を残した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は999百万円（前年同期比22.6%増）となりました。2016年10月にオープンした旗艦店「bills銀座」店も従来とは異なる層のお客様の開拓に奏功し、今後、更に高まるであろうインバウンド需要の受け皿づくりも順調に進んでおります。

⑤開発事業

当社ならではのPR発想に基づく新たなビジネスを次々に輩出している開発事業では、ジャパンプランドを世界に発信する「OMOTENASHI NIPPON PROJECT」で蓄積したノウハウやリソースをベースに、インターネットやビデオ・オン・デマンドを活用した独自の商流を構築して、越境ECを中心としたグローバル・ビジネスを展開する「ENGAWA株式会社」、時代のニーズに呼応した厳選された人財の紹介派遣を行う「株式会社サニーサイドアップキャリア」の二社を中心に、当社グループの中長期的な発展の原動力となるべく収益化に向けた計画の実践に積極的に取り組んでおりますが計画半ばの進捗でもあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は36百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、6,094百万円（前連結会計年度末比321百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が4,381百万円（同80百万円増）、固定資産が1,713百万円（同240百万円増）であります。また、負債合計は、4,597百万円（同226百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が3,368百万円（同163百万円増）、固定負債が1,229百万円（同62百万円増）であります。純資産合計は、1,497百万円（同95百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては現時点において、平成28年8月17日に発表しました平成28年6月期決算短信に記載しております平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,052,945	885,782
受取手形及び売掛金	2,539,988	2,544,591
商品及び製品	7,866	8,165
未成業務支出金	311,213	571,242
原材料及び貯蔵品	26,393	32,189
その他	366,786	357,014
貸倒引当金	△4,551	△17,674
流動資産合計	4,300,642	4,381,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	472,311	458,158
土地	508,701	508,701
その他(純額)	99,413	293,298
有形固定資産合計	1,080,426	1,260,158
無形固定資産		
のれん	11,326	10,685
その他	1,152	1,037
無形固定資産合計	12,479	11,723
投資その他の資産		
その他	443,349	490,975
貸倒引当金	△63,429	△49,203
投資その他の資産合計	379,919	441,772
固定資産合計	1,472,825	1,713,654
資産合計	5,773,467	6,094,965
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,212,467	997,421
短期借入金	839,907	1,525,982
1年内返済予定の長期借入金	247,626	237,624
未払法人税等	91,405	112,210
賞与引当金	-	2,203
その他	813,413	492,808
流動負債合計	3,204,821	3,368,251
固定負債		
長期借入金	732,396	778,045
資産除去債務	53,484	53,812
その他	380,630	397,526
固定負債合計	1,166,510	1,229,384
負債合計	4,371,331	4,597,636

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,518	475,518
資本剰余金	570,597	580,413
利益剰余金	129,594	193,968
自己株式	△30,281	△30,281
株主資本合計	1,145,428	1,219,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,677	3,172
為替換算調整勘定	111,193	122,567
その他の包括利益累計額合計	113,870	125,739
新株予約権	40,378	44,116
非支配株主持分	102,457	107,854
純資産合計	1,402,135	1,497,328
負債純資産合計	5,773,467	6,094,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,739,843	3,263,128
売上原価	3,020,377	2,615,740
売上総利益	719,465	647,387
販売費及び一般管理費	332,620	385,388
営業利益	386,844	261,998
営業外収益		
受取利息	129	338
持分法による投資利益	-	1,245
受取家賃	9,575	9,680
外国諸税金還付金	4,176	-
その他	5,752	2,283
営業外収益合計	19,634	13,547
営業外費用		
支払利息	2,901	2,692
持分法による投資損失	383	-
為替差損	12,500	5,989
賃貸費用	4,491	3,643
その他	344	519
営業外費用合計	20,621	12,843
経常利益	385,857	262,701
税金等調整前四半期純利益	385,857	262,701
法人税等	153,995	111,638
四半期純利益	231,862	151,063
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,147	△4,947
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,010	156,010

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	231,862	151,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,243	495
為替換算調整勘定	16,538	11,373
その他の包括利益合計	15,294	11,869
四半期包括利益	247,157	162,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,305	167,880
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,147	△4,947

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	SP・MD事業	スポーツ事業	bills事業	開発事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,389,324	1,282,451	215,001	815,759	37,306	3,739,843	-	3,739,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	189,845	1,300	817	5,975	197,938	△197,938	-
計	1,389,324	1,472,296	216,301	816,576	43,282	3,937,781	△197,938	3,739,843
セグメント利益	189,841	290,973	25,382	10,110	4,835	521,145	△134,300	386,844

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	8,768
全社費用(注)	△143,068
合計	△134,300

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング・コミュニケーション事業	S P・MD 事業	スポーツ 事業	bills 事業	開発 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,050,394	914,770	261,145	999,865	36,952	3,263,128	-	3,263,128
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	753	37,967	2,192	398	13,667	54,979	△54,979	-
計	1,051,148	952,737	263,337	1,000,264	50,619	3,318,108	△54,979	3,263,128
セグメント利益 又は損失(△)	132,201	165,349	53,198	55,783	△30,698	375,833	△113,834	261,998

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	16,234
全社費用(注)	△130,068
合計	△113,834

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。